

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜港南		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 7日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年 1月 7日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている。	面談時において、保護者からの話に傾聴して保護者が困っている点だけでなく、頑張っているところなどお伝えし、フリースマイルの課題においてできるだけ保護者が取り組んでいる項目を取り入れ、子どもの目線に沿った支援を意識していく。	職員とのミーティングを増やし、保護者に寄り添いながら安心してなんでも相談できる環境づくりを意識していく。
2	子どもや家族からの相談や申し入れについて、迅速かつ適切に対応できている。	HUGのメッセージや電話などあった時には共有し、朝礼などの場で報告・共有ができている。また、対面での話をする場合も送迎などの時間を利用するなどその日の予定を確認している	職員間で対応したときにわかるように連絡ツールなどの利用し次の日には把握し、対応できるようにしていく。
3	子どもは安心感をもって通所できている。	好きなことを過ごす時間と活動をして頑張るメリハリをつけている中で困ったときにその気持ちを伝えられる雰囲気作りができていくように感じる。一日の流れをホワイトボードで提示し、変更時には早めに伝えるように意識している。	引き続きのおこないつつも気持ちが崩れてしまったときのクールダウンの場所づくりや自分のペースで過ごせる場所などの環境設計を取り入れさらに安心できるよう職員と話し合っ取り組めるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニングなど）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会などが行なわれていない点について	事業所としてペアレント・トレーニングに対する知識がなく、また外部研修などの機会に参加できていない為、情報が少なく情報提供ができていない。	職員がそれぞれ外部研修を行い、それを事業所間で学習する機会を設ける。ペアレントトレーニングだけでなく、外部で行っている研修から必要な物を率先して受けられるようにしたい。
2	保護者同士の交流の機会が少なく、事業所における家族イベントが開催できていない。	年1回の映画イベントが安定してから次のイベントを設定することが課題と考える。	保護者がどんなイベントを希望しているかなどの聞き取りをし、職員間でしっかりと話しあいながら事前準備などを進めていきたい。
3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に達しておらず、子ども達の活動に合わせた空間づくりに課題がある。	整理整頓が行き届かず、ハサミなどの危険なものも自由に入力できることで職員の危機管理が甘いところがある。また、イベントなどで使いたいときにものがなく在庫管理ができていない。	子どもたちが自由に使える空間と職員しか触れられない場所を明確にし、次の活動にあわせて子どもたちと片付けをしながら心地よく過ごせる環境づくりをしていきたい。